

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 講師	氏名 村上雷多	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
授業評価の導入		平成26年4月～	授業評価を導入することで、学生の意見を反映することができ、それに基づいて授業の改善に取り組んでいる。			
パワーポイントの導入 (武道論, 武道・稽古・修行論, コーチング法, スポーツ技術戦術論)		平成26年4月～	学生の理解度を高めるために、パワーポイントを導入し、わかりやすい授業を心掛けている。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
アクティブ中学校校体育実技		令和4年11月	「アクティブ中学校校体育実技」剣道部分を担当し改訂を行った。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
大阪府剣道道場連盟主催剣道講習会		平成29年10月～	毎年1回、大阪府の小・中学生を対象に、剣道部男女学生全員と講習会を実施している。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
大阪体育大学教員免許更新講習2017	村上雷多/大阪体育大学	181頁～195頁	大阪体育大学教職支援センター	大阪体育大学	平成29年12月	
大阪体育大学教員免許更新講習2018	村上雷多/大阪体育大学	177頁～191頁	大阪体育大学教職支援センター	大阪体育大学	平成30年12月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
近世剣術における精神性に関する一考察	村上 雷多	身体運動文化研究	第21巻	13頁～36頁	平成28年3月	
男子大学剣道選手の認知機能における特徴について：競技レベルとP300の関係に着目して	川井良介 香田郡秀 鍋山隆弘 有田祐二 村上雷多 渡邊孝士 郎 大野達哉	身体運動文化研究	第24巻	11頁～19頁	2019年3月15日	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
研究ノート	コロナ禍による部活動環境の変化が〇大学運動部学生に与えた影響に関する実態調査	共 神田智浩 山下純平 村上雷多 下川真良	身体運動文化研究	第27巻	41頁～50頁	2022年3月15日
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	

特許									
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国			
Ⅲ 加入学会および社会における活動									
期 間		内 容							
加入学会									
平成25年6月～		日本武道学会会員							
平成25年9月～		身体運動文化学会会員							
平成27年2月～		日本コーチング学会会員							
平成28年8月～		日本体育学会会員							
平成28年10月～		身体運動文化学会常任理事							
社会的活動									
令和3年4月～現在に至る		全日本剣道連盟アスリート委員会							
Ⅳ 管理活動									
期 間		内 容							
委員会活動									
平成31年4月～		研究委員会							
令和4年4月～令和5年3月		FD委員会							
特別プロジェクト活動									
平成〇年〇月～平成〇年〇月									
平成〇年〇月～平成〇年〇月									
Ⅴ クラブ活動の指導業績									
1. 指導クラブ名	剣道		部	2. 役職	男子監督		3. 部員数	85	人
4. 現場指導の頻度	①	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない							
5. 合宿指導	年間合宿回数：	2	回	延べ日数：	14	日			
6. クラブの競技力向上への取り組み	①	①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない							
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①	①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない							
8. 部員の就職指導への取り組み	①	①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない							
9. 年間の引率公式大会名	大会名			期 間		場 所			
	大阪学生剣道選手権大会			4月		大阪府立臨海スポーツセンター			
	関西学生剣道選手権大会			4月		舞洲アリーナ			
	西日本学生剣道大会			5月		久留米アリーナ			
	大阪学生剣道新人大会			6月		大阪府立臨海スポーツセンター			
	全日本学生剣道選手権大会			7月		日本武道館			
	大阪学生剣道優勝大会			8月		金岡公園体育館			
	関西学生剣道優勝大会			9月		未定			
	全日本学生剣道優勝大会			10月		丸善インテックスアリーナ			
	全日本女子学生剣道優勝大会			11月		春日井市総合体育館			
	若木杯剣道大会			11月		舞洲アリーナ			
全日本学生剣道オープン大会			12月		金沢				

10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）

開催期間	大会名	成績	場所
平成30年	第66回全日本学生剣道優勝大会	ベスト8	大阪府中央体育館
令和元年	第67回関西学生剣道優勝大会	優勝	舞洲アリーナ
令和三年	第68回関西学生剣道優勝大会	優勝	東和薬品RACTABドーム
令和四年	第70回関西学生剣道選手権大会	優勝	舞洲アリーナ
令和四年	第69回関西学生剣道優勝大会	準優勝	東和薬品RACTABドーム

VI 賞罰（職務に関する賞罰）

年月	受賞等機関名	内容	備考
平成28年10月	身体運動文化学会	平成28年度身体運動文化研究優秀論文賞	